



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2021・9・1 第47号

学年主任 森本 聡一郎

今年のテーマ：3年間の「自分磨きの旅」を感動に満ちたものにしよう

最上級生としての自覚ある行動と進路実現への挑戦

今月のテーマ：気分一新で新学期スタート。受験準備怠りなく、学校行事を完遂させる！

1. 「蒔いた種は刈り取れ」

どのように育苗（いくびょう）し、播種（はしゅ）したのか。水やりは適切だったか、雑草抜きも怠りなかったか。丹精したのか、それとも放置したのか。

反省や後悔はいろいろあれど、もはやそのようなことを考えても仕方のない時期に来てしまった。収量の多寡（たか）を皮算用する暇があるのなら、さっさと収穫準備に入るべきだ。夏の成果はこの秋に出る。そして、秋の取り組みが冬に問われるのだ。刈り取るのは、他でもない自分自身である。

今頑張る姿勢が人生の基盤となる。

受験には合否がつきものである。しかし、それが難関校か否か、また、難関校であっても受験生が競争回避するか否かによって結果は左右されることになる。入試は、どの大学を、どの年に、誰を相手に受験したかという流動的な要因に影響を受けるのだ。従って、合否という結果そのものを追うと、勘違いが起きることもある。たとえ不合格でも、それが自己陶冶（とうや）に結びつくような競争ならば、闘ったこと自体が意味を持つのだ。貴重な経験となって、キミ達に不屈の人生を約束してくれるだろう。他方、安易な合格を手にしても、その経験が努力する人間を培っていくとは思えない。

高校卒業後にどの企業や学校へ行くのかで人生は変わるだろうが、高校3年生のこの時期の過ごし方も、人生の基盤づくりという点では、合否以上に重要である。

2. 「9月当初の行事予定」

9月 1日（水）	大掃除、始業式、学年集会、LHR	
2日（木）	課題考査（①英語）2限より平常授業	
4日（土）	看護模試	
6日（月）	キャンパスカウンセリング、PTA 挨拶運動（～10日）	
8日（水）	大学共通テスト説明会（⑥体育館）	白露
10日（金）	3年模試（～11日）	
13日（月）	キャンパスカウンセリング	
15日（水）	体育祭準備・予行（午後、綱引き、リレー予選）	
17日（金）	体育祭	
20日（月）	敬老の日	彼岸入り
23日（木）	オープンハイスクール（月曜日の授業）	十五夜
27日（月）	23日の代休	



3. 「進路関係について」

1) 指定校推薦について

最も安直な方法に思えますが、仮に校内選考されたとしても、1) 以後、取りやめることは許されず、他の受験は一切できません。2) 大学の成績、出席等が後輩に大きな影響を与えてしまう、等のことを理解してください。冷やかして申し込むものではありませんから、相当の覚悟で出してください。

実力で入ったのならいざ知らず、名前に釣られて無理に背伸びしては後悔のもとです。AO入試もそうですが、そこが大本命でない限りは専願は考えものです。

また、指定校制度の決定的な問題は、受験勉強の苦しい時期を乗り切らずに早々と進路が決まってしまうことです。浪人と違って、現役はこれから卒業まで受験勉強を続けて、初めて大学で学ぶ力を身につけるのです。その力をつけずに、また競争体験していない弊害は相当なものがあります。実際に、大学側が案じ、果せるかなその危惧が現実なものになっているのが、「推薦入学生の就職不調率の高さ」です。楽をしているのだから、一番肝心な就職の時に勝負にならないというのです。指定校推薦入学生はその最たるものです。このような学生の全員が不幸になるとは思いませんが、多くの者がこの時期に体験する苦勞を共有していないと、やはりどこかピンボケしてしまうのだそうです。ということで、指定校を希望する人は心して申し出てください。

2) 大学共通テスト出願について

8日(水)に説明会が行われます。原則、就職及び専門学校希望以外の生徒は全員参加してください。説明を聞いてから共通テストを受けないのは構いませんが、後から「受けたいのですが…」は一切、認められていません。国公立だけでなく、私大も共通テスト利用受験が結構ありますから、受けておいて損はありません。検定料が18,000円と安く、実際の私大入試受験検定料の半分で済みます。何よりも、共通テストを受けておけば、もう私大の共通テスト利用入試には行かずに済みます。

3) 小論文対策について

必要な人は「小論文指導願」を提出してください。進路指導部から先生方に依頼して頂き、キミ達の担当の先生が決まります。私大の小論文入試などは絶対に対策を立てておかないと勝ち目なし。国公立にも共通テストありや共通テストなしの推薦入試はあります。

科目数の多い受験勉強を避けて、負担の少ない推薦入試に飛びつきたくなるのは人情ですが、よほどの推薦理由がないと受けても不利です。受験勉強をガンガンしておかなければいけない時期に、「小論文書かないと…」、「面接練習しないと…」と、負担を増やすのは考えもの。推薦入試を落ちてから教科学習を始めても手遅れになります。

過去には推薦入試で大ヒットを飛ばした人もいましたが、部活動やその他の活動で凄い肩書きがないのなら、やはり教科の勉強をコツコツするべきでしょう。ともあれ、担任の先生や進路指導部の先生には遠慮なく相談してください。

4) データベースの活用を

大学のデータを進路指導室で閲覧できます。出力(プリントアウト)も可能です。過去の入試問題から小論文問題、受験報告書等を見ることが出来ますから、進路の先生に申し出てください。



4. 「行動に取りかかれぬキミへ」

**自分に何ができるかは自分以外のものには分からない
いや、自分でもやって見るまではわからないものだ**

R・W エマソン（米国の詩人）

自分が夢を見るだけの人間なのか、それとも夢を追うことができる人間なのか。この夏は否応なく自分の強さ弱さと向き合うことになったでしょう。少なくとも向き合えただけでもましである。それすら出来ずに徒に日々を過ごしたなら、キミは精神的に今の名目上の精神年齢には達していないこととなります。現実の自分を見据えて、その将来を見つめる作業は、この時期にはどうしても経験しておかねばならない「達成課題」なのです。決めた目標なら、まだまだ進めるところまでは進んでみてください。やってみて、望んでいる結果が出るかどうかはわかりませんが、やれば少なくとも「自分」いうものを知ることができます。やらなければ、いつまでたっても絶対に分からないし、気付くこともできないのです。

「結果が出ずに焦っているキミへ」

**焦ることは何の役にも立たない。後悔はなおさら役に立たない。
前者は過ちを増し、後者は新しい後悔をつくる**

ゲーテ（ドイツの作家）

人間とは実に心的作用に影響されやすいものです。余裕のある時とない時では、同じことが全然違うように思えてしまいます。「病は気から」と言いますが、気の持ち方一つで行動が楽になったり、苦しくなったりするのですから、おかしなものです。

ということで、どのみち事態が同じであるならば、キミ達はポジティブな心的状況にいるべきです。イライラして事態が好転するのなら苛（いら）つけばよいでしょうが、そうでないならイライラしてストレスを溜めるだけ損です。

後悔するのも同じであり、それで事態が元に戻るのならいくらかでも後悔してください。でも、そうじゃないでしょ。それなら後悔して苦しむのは損ですよ。

さあ、気分転換も必要です。気分を切り換えて、苦しく辛いことでも、ニッコリ笑って前向きな気持ちで取り組めば最高です。あなたは強くなれたのです！

